

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービス りんく

支援プログラム（参考様式）

作成日 令和7 年 3 月 21 日

法人（事業所）理念		日常生活における基本的動作を習得し、集団生活に適応することができるよう、身体と心の状況並びにその置かれている環境かつ効果的な助言及び能力の向上を行うものとする。							
支援方針		◎個性を大切に一人ひとりに対して寄り添い、安心して過ごせる場所を提供すると共に、「できた」をたくさん積み重ねて「できる」自信に変えていく。 ・できたをふやそう 衣類の着脱、トイレ、道具の使い方（スプーン、フォークなど）等の身辺自立を目指す ・いっしょにやってみよう 遊びを通じて、聞く、交渉する、コミュニケーションの取り方などの経験値を上げる							
営業時間		10 時	0 分から	19 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり	なし	
		支 援 内 容							
本人支援	健康・生活	・排泄、着脱、身の回りを清潔にすることなど、基本的な生活習慣を身につけられるようにスモールステップで支援を行う。 ・集団プログラム（集団活動）の際に途中で水分補給と身体を休める休憩タイムを行う。 ・道具の使用と手の操作性を強調して行う。							
	運動・感覚	・運動機能、バランス感覚、力の強弱、距離感、さまざまな体の感覚・感触に触れ、感覚の成長を支援。 ・複数の運動遊びを通して体の動かし方を学び、運動の楽しさを感じるとともに、運動能力の向上に繋げる。 ・【手と目の協応】【微細運動】【巧緻性】などで手指機能の成長を支援。							
	認知・行動	・【着席】【注視】【チャレンジ精神】など、課題に向かいあう姿勢や力を養う。 ・状況の変化への対応（適応の難しさ等への支援） ・本人様からの表出や要求に可能な限り応え、伝わった事への成功体験を積み重ねる。							
	言語コミュニケーション	・言語の受容と表出、言語の形成と活用、状況に応じたコミュニケーションの支援。 ・日常生活等において場面に応じた挨拶を促すことで基本的な言語表出を身につける。 ・インプット時期を見極め、言葉のシャワーをかけ、アウトプットに繋げていく。							
	人間関係社会性	・環境に対する安心感、人に対する信頼感、自分に対する自己肯定感を育む。 ・お友達との関係を構築する際、具体的なコミュニケーションの取り方や声かけ方法をわかりやすく示す。 ・思いや気持ちが通らないなどで昂った状態の際はペースに合わせて関わり、気持ちの発散や切り替えの方法と一緒に考える。							
家族支援		・子育てや日常生活における困りごとに対する相談援助。 ・お子さまの成長を共感・確認。 ・個人面談・電話や連絡ツールにて対応				移行支援	成長していく上でライフステージへの切り替えを見据えて準備。 移行先（保育園・幼稚園・学校）との情報共有。		
地域支援・地域連携		・関係機関（保健・医療・福祉・教育） ・相談支援事業所との生活支援や発達支援の連携 （担当者会議を定期的に開催、情報を共有する）				職員の質の向上	・動画研修・支援会議（月1回） ・集団研修（年2回）		
主な行事等		・系列事業所との合同イベント（夏祭り・クリスマス） ・季節に応じた行事・イベントをプログラム内で実施							